

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 2月 25日

公表: 令和 8年 3月 21日

事業所名 児童発達支援 にじいろふたば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	活動スペースと遊具置き場を分けている事でスペースは広く使え、遊具も置き場まで片付ける意識が養われています。	
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	スケジュールを可視化し、見通しのできる環境を作ったり、おもちゃの片付ける場所に写真を貼ったりし、わかりやすい環境を整備しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	落ち着けるスペース、活動するスペース、お支度をするスペースなど内容によって空間を仕切っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	その日のうちに子供たちの様子を共有し合い、対応について話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	評価結果を真摯に受け止め、職員間で話し合い、改善できることはすぐに改善しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年いただいた意見を公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	月に一度事業所内研修を行い、その中でその時の課題について職員間で話し合い質の向上を図っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	保護者様に寄り添った面談に心掛け、お困りごとやお子様の課題についてしっかりとヒヤリングさせていただき、必要な支援について話し合いを行なったうえ、作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	全ての利用者様に使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	本人支援・家族支援・地域支援全てにおいて、細かく計画が立てられていて、それに沿った支援が行なわれています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援計画を見たり、保護者の方とお話し支援を行なっています。	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	各職員が5領域に沿った内容で毎月、集団活動を立案し、週替わりで実施の仕方や細かな内容を変えていくなど、子どもたちが楽しく参加できる内容にしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	集団活動は毎月「ねらい」を変え、更に週替わりで変化を持たせることで固定化しないよう工夫をしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	毎日、集団活動と個別支援・言葉遊び(週替わりで行なう)を行っており、支援計画に沿った内容にしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	毎日、朝会もしくは昼会を行ない、前日の振り返りや最新の情報の周知、当日の利用者の確認等を行ない、参加できない職員用として共有ノートを作成しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	気付いたことはその場で話し合うようにし、共有ノートにも記載して、いつでも確認できるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	サービス提供記録等で細かく記録することで、支援の検証や改善に繋げています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	モニタリング面談には現場の職員も可能な限り同席し、より詳しく子どもたちの日々の様子をお伝えし、話し合える環境を整えています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者を中心として現場職員も1名以上、参画するようにしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	必要に応じて様々な機関と連携を取っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	現在は医療的ケア児はいませんが、今後通所があった場合は連携した支援を行ないます。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	現在は医療的ケア児はいませんが、今後通所があった場合は連携した支援を行ないます。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	保護者様のご要望に応じて定期的に園への訪問を実施しています。園での様子を見学させていただき、先生方と情報交換を行なうことで支援の幅を広げているようにしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	ご要望に応じてサポートブック等の作成のお手伝いをさせていただき、情報の共有を行なっています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		現在のところ、連携はありません。機会があれば助言や研修を受けたいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	毎月1回程、高校生のボランティアがお手伝いに来てくれます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		機会があれば是非、参加したいと思います。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	毎日のサービス提供記録に細かくお子様の様子を記載すると共に送迎時などにお会いできた際に面談をさせていただくなどを心がけています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0	外部講師による講演会や個別相談会などを行なっています。また、保護者会も年2回以上開催し、家族支援を行なうことができるような機会を設けています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に契約書に記載してある内容説明は丁寧に行なっています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	必ず個別支援計画の内容を確認していただき、ご納得いただいたうえで署名をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	定期的に面談を行ったり、電話での対応等も行ない、お悩みをお聞きしたり、助言等も行なっています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	年2回以上、保護者会を開催し、保護者様同士がコミュニケーションを取れる場を設けています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談や受け入れがあった場合は迅速に対応するよう心掛けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	Lステップを活用し、毎月の活動内容を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	パントリーなどを開催しています。またボランティアの高校生に毎月一回程来てもらい、子どもたちとの関わりを持ってもらっています。	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	避難訓練は年二回実施しています。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	アセスメントシートの記入やヒアリングを行い、持病などについては必ず確認を行なっています。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	アレルギーの有無を事前に必ず確認し、指示に基づいた対応を行なっています。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	所定の書類を作成し、共有しています。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に虐待防止研修を行なっています。	

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	支援計画の備考欄に必ず記載し、口頭での説明も行なっています。	
----	--	---	---	--------------------------------	--

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。